

あと3週間だからこそできること・・・

1学期も締めくくりを迎えました。「あと3週間」と言っても、今日水曜日を除けば、最終日の終業式を入れても12日間しかありません。

そんな中、共々委員会では来週の8日（火）と10日（木）の2日間に『共々Morning』（母校でのあいさつ運動と校内ひとりだちボランティア）を実施する予定です。たくさんの参加希望に愛校心を感じました。

また、8日（火）から合唱コンクールに向けてSQ合唱練習も始まります。本番の合唱コンクールは「うちのコーラス魂！～shine forever～という目標のもと、1学期の最後の熱唱を聞かせてくれると信じています。

さて、この1学期もいろいろありました。こんな生の声を聴いたので紹介します。



今回もテストの点が悪かった。もともと、勉強しなかったのが、良い点が取れるわけではなかったけど、本当にやばかった。前に分けられたプリントをやっておけばよかった・・・。基礎問はちゃんとやっただけであって。計算とか、今までちゃんとやっておけば、少しミスも減ったかもしれないのに。いつもやろうと思っても、スマホとかゲームなどに気をとられて勉強できないし、ついつい甘く考えてしまう。私は本当に自分に甘いなあ～と思った。このテスト反省もそうだ・・・。今までだらだらとやってたりとか、TV見ながらやってたりとかして、宿題がかなりたまっている。本当に大変だ。今まで私が遊んでたから、その分増えたんだと思う。次のテストに向かって、必ず宿題を出して、てきぱきと生活したい！！間違えたところも、復習しておきたい。

（ある生徒のテスト反省より）

私たちのクラスでは、よりよい学級を目指して話し合い活動を行いました。まず、自分たちの課題として「意見が言いにくい雰囲気」や「私語」「あいさつが少ないこと」などをあげ、みんなで短期目標を決めました。具体的には「意見を言いやすくする」「HBの整頓」「小さな勇気を出して声をかける」「当たり前のことを当たり前にする」などです。これらを少しずつ意識して行動に移すことで、明るく安心できるクラスにしたいと考えています。自分たちで課題を見つけ、解決に向けて動き出したこの取り組みを、これからも続けていきたいです。

（あるクラスの学級活動の一部分を紹介）

さあ、いろいろな意味で、夏休みはチャンスです。これまで私も担任をしていましたが、日誌に、「夏休みに頑張りたい」との記述が多くみられたことを思い出します。でも、そういう人の多くは目標倒れになりがちです。「夏休みから・・・」と思っている人は三日坊主が圧倒的に多いのです。「～になったら頑張ろう」はいかにもうまくいきそうな決意ですが、



計画や経験がない人には無理です。やる気だけで続かなかったり、課題をこなせなかったりします。私もそうでした。「2年生になったら・・・、夏休みになったら・・・。3年生になったら・・・。」という目標を何度立ててつぶしたことか！！

私が数多くの失敗から学んだことの一つは、「～になったら頑張ろう」という目標を達成させたり、夢を実現させたりするためには、良い準備が必要であることです。「始めるのに遅すぎることはない」という言葉があります。同じように、「始めるのに早すぎることはない」と私は思うのです。

夏休みをだらだら過ごして、うまくいかなかった経験がある人も多いと思います。「夏休みに頑張る」という障害は非常に高いものです。クリアしたい障害（ハードル）があるとき、皆さんはどうしますか？障害が低ければそのままポンと飛び越えますが、障害が高ければ助走をつけて飛び越えるでしょう。ですから、助走が必要なのです。その助走に当たるのが、今の過ごし方なのです。

最近、ちょっと自分を甘やかしたり、フワフワ浮ついていたりする人もいます。でも、上記のテスト反省の筆者のように学力向上のためにまず生活の改善を心掛けたり、夏休みの学習（深化・補充教材）をすでに始めたりしている人もいます。あと、少しです。もう一度気を引き締めて、1学期の締めくくりをしましょう。そして、夏休みへのいい助走をつけましょう。

そこで、「これだけはやるぞ！」と生活・学習の両面で目標を立てて「生活日誌」に記入し、明日の朝、担任の先生に提出してみましょう。その「できること」はこれからずっとやっていくことは無理かもしれません。かなり厳しい部分もあるでしょう。でも、あと13日間ならどうですか？ちょっと無理すればできそうではありませんか？そして、そこでできた「いい癖」は、夏休みのよいスタートと夏休みの充実につながります。

